



第2号

平成21年5月1日

神河町立長谷小学校

若葉の好季節、 子どもたちと遊んでみたらいかがでしょう

ピンク色のコバノミツバツツジが山に可憐に咲いています。一年生の6名も学校になれ、元気に学習しています。4月は離任式・着任式・入学式・授業参観・PTA総会・家庭訪問等がありました。保護者の方にはご協力ありがとうございました。

朝会のたびに「学校は楽しいですか。」と子どもたちに問いかけると、「遊びが楽しい。」「勉強が楽しい。」等の返事が返ってきます。更に「楽しい」の話がたくさん聞けるようにしていきたいと考えています。「学校が楽しい」と感じられるには、友だちと楽しく遊べること(いじめがないこと)、勉強が分かること(新しいことを知る喜び・何かができるようになる喜び)が満たされなければなりません。

子どもたちは、休み時間になると、運動場で元気よく遊んでいます。28人の児童が同じことをして一緒に遊ぶというわけにはいきませんが、それぞれに一輪車をしたり、ボールを使つての遊びをしたり、砂場で遊んだりと各自で考えているいろいろな遊びをしています。遊びの中で、ルールを考えたり、規範意識を学んだりします。遊びは、体力作りにもなりますが、創造性や規範意識を養う上からも、とても大切なことです。

昔は、テレビもなくゲーム機もなく、子どもたちは地域で群れて遊んでいました。鬼ごっこや缶蹴りやパッチンやケイドロやドンマやニクダン等様々な遊びをしていました。魚釣りや魚つかみもしていました。弁当を作ってもらって山に行くこともありました。暗くなるまで遊んでいました。今は、休日に地域で遊ぼうとしても少子化で友だちがあまりいません。また、不審者に声をかけられる心配などもあり、家の中での遊びに偏りがちです。遊びがついテレビやテレビゲームになってしまうのも世相の顕れかもしれません。

遊びというものは上の子から下の子へと引き継がれるのですが、現在はそのような状況が稀薄です。では、どうすればいいのでしょうか。ゴールデンウィークが始まります。「こんなことをして遊んでいたよ。」とお子様に昔の遊びの様子を語って聞かせたり、親子で自然の中で遊んでみるのもいいかもしれません。山登りに行かれたり、ハイキングをしたり、魚釣りをしたり、忙しいでしょうが、5月5日はこどもの日です。子どもたちと遊んでください。